



理事長 小林 輝夫

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

本年も北上信用金庫に対する皆様のご理解を深めていただくとともに、今後一層のご愛顧を願ってディスクロージャー誌「まる見えしんきん2011」を作成いたしました。

さて、わが国経済は、好調なアジア経済に支えられ、企業業績は緩やかな回復基調にありましたが、本年3月11日に東日本大震災が起これ、インフラ破壊・供給網寸断・原子力発電所事故などにより、経済活動にも広範囲の影響が生じ、戦後最大の困難に直面いたしました。当北上地域におきましても、市内の建物・設備等に被害があったほか、停電及びガソリン不足や食料品をはじめとする物資の一時的な供給不足など市民生活や企業活動に大きな影響がありました。震災から4ヶ月あまりが経過し、インフラ並びに供給網の復旧が進み、復興に向けた兆しが見られますが、風評や自粛ムードによる経済活動の収縮、原子力発電政策の見直しによる電力不足が重荷となり増産を阻むなど、今後の企業収益や個人の所得低下への影響も懸念され、景気の先行き不透明との警戒感が強まっております。

こうした中、当金庫では、被災者並びに被災企業の資金需要にいち早く応じるため「災害復旧ローン」や「岩手県中小企業復旧資金」などの取扱いを開始したほか、被災地の復旧・復興支援に少しでも役に立ちたいと「東日本大震災岩手県復興応援定期預金」の取扱いを開始しました。また、ATMの稼働時間を短縮するなど電力供給力低下に伴う節電対策も実施しております。今後も、地域の復旧・復興に向けて被災された方々への応援・支援に積極的に取り組んでまいります。

平成22年度は、長期3ヵ年計画「しんきん『つなぐ力』発揮 Go Challenge 2009 ～新たな価値の創造と地域の持続的発展をめざして～」の中間年度として、さらなる地域貢献を果たしていくため、地域の皆様への安定した資金供給や利便性の向上に向けた施策に積極的に取り組んでまいりました。また、平成23年3月期の業績においては、業務純益538百万円、当期純利益87百万円を計上したほか、重要な指標である自己資本比率が国内基準を大きく上回る16.43%となり、経営の健全性をより一層高めることができました。今後も、地域金融機関として、より一層地域に根ざした金庫経営を目指し、役職員一丸となって努力してまいります。

本誌では、平成22年度事業概況や内部統制、地域貢献活動などを取り上げ、当金庫の経営内容について分かりやすくご説明させていただきましたので、なにとぞご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

皆様におかれましては、今後とも、変わらぬご支援、お引き立て賜わりますようお願い申し上げます。

平成23年7月



元気をもっと！この街で、ずっと！

経営理念

経営理念

地域金融機関として 「中小企業の健全な発展」 「住民生活の向上」 「地域社会の繁栄」 の実現に貢献する



それが為われわれは、

相協力して経営をより堅実な発展性のあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して職場をより明るい、楽しい働きがいのあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して自分をより高い豊かな教養のあるものにしよう。



当金庫の姿勢

当金庫は、昭和23年9月の創業以来、協同組織の金融機関として長年にわたり地域に根ざし、「地域金融機関として『中小企業の健全な発展』、『住民生活の向上』、『地域社会の繁栄』の実現に貢献する。」を経営理念に掲げ、相互扶助の精神を常に念頭におき、地域社会との共存共栄を図りながら、社会的使命とその役割を果たしてまいりました。

この姿勢は、今後も何ら変わることなく、地域の皆様から「愛され」、「信頼される」地域金融機関として、健全経営に徹するとともに、より一層の良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

信用金庫法

(施行昭和26年6月15日)

(目的)

第 1 条

この法律は、国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資するため、協同組織による信用金庫の制度を確立し、金融業務の公共性にかんがみ、その監督の適正を期するとともに信用の維持と預金者等の保護に資することを目的とする。



長期経営計画

しんきん「つなぐ力」発揮

Go Challenge 2009

～新たな価値の創造と地域の持続的発展をめざして～

自 平成21年4月 1日

至 平成24年3月31日

- ◆**計画理念** 信用金庫が持つ、「つなぐ力」をさらに進化させ、会員をはじめ地域の様々な主体との連携を一段と強化し、地域の持続的な発展を目指す。

◆**基本方針**

1. 地域密着型金融の深化

地域金融機関として、地域密着型金融への取組み等を通じて、地域活性化や地域の持続的な発展を目指す。

2. 独自性のさらなる発揮

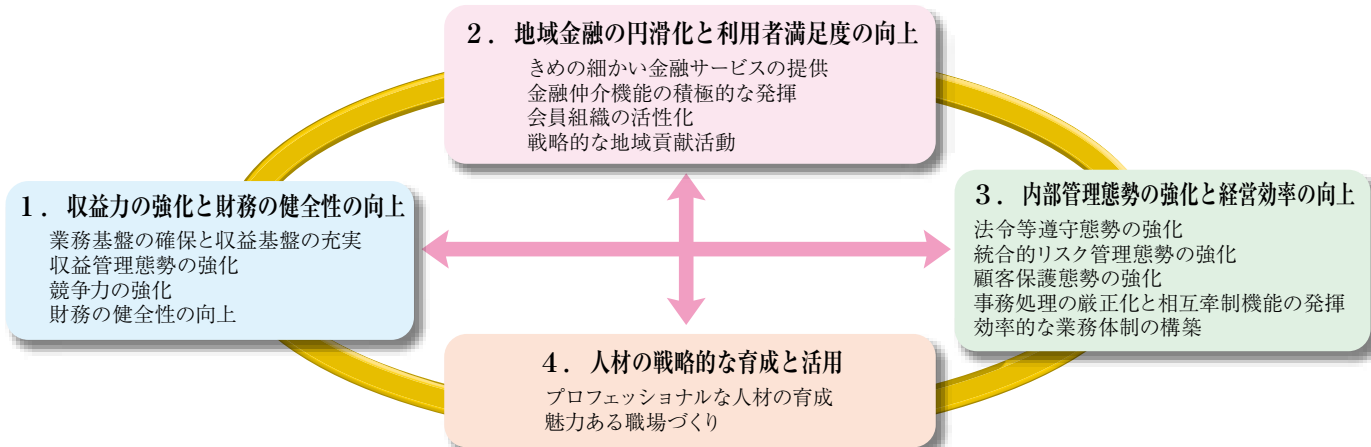
協同組織金融機関として、信用金庫の独自性をさらに発揮する。

3. 永続性のある経営の確立

内部管理態勢の整備、経営効率の向上および人材の育成等によって、永続性ある経営の確立に努める。

平成23年度経営方針

当金庫が創立以来培ってきた「地域をつなぐ力」を発揮し、地域の持続的な発展をめざしていくため、「収益力の強化と財務の健全性の向上」「地域金融の円滑化と利用者満足度の向上」「内部管理態勢の強化と経営効率の向上」「人材の戦略的な育成と活用」の4つを経営重点方針と定め、地域から信頼される金庫経営を確立し、経営資源の有効活用を図り、全役職員の叡智と協調によって、長期3ヵ年経営計画の目標達成をめざしてまいります。



平成23年度地域密着型金融推進への取組み

地域金融機関である当金庫が、地域の活性化や持続的な発展に貢献していくためには、これまで行ってきた地域密着型金融への取組みをさらに深化させていくことが重要です。よって、下記の3項目を地域密着型金融推進の取組み方針と定め取組んでいくこととします。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

・創業・新事業支援、並びに金融円滑化に向けた経営改善支援、事業再生および事業承継への積極的な取組み

事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給手法の徹底

・担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み
・企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力「目利き力」等、人材育成への取組み

地域の情報集積を活用した 持続可能な地域経済への貢献

・地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み
・地域活性化につながる多様なサービスの提供